

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年10月23日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅳ》</p> <p>夜間中学における教育機会提供拡充に係る調査研究</p> <p>ウ. 教職員研修に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導の指導方法について <p>エ. その他既存の夜間中学における教育機会の提供拡充に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校と連携した日本語指導の在り方について
調査研究のねらい	<p>松戸市教育委員会では「学びたい方が、学べる環境づくり」を目指し、松戸市ならではの教育文化を創造していきたいと考えている。</p> <p>昭和53年度以降、都内夜間中学への進学を希望した1名以外には、義務教育未修了者は存在していなかった。また、中学校を卒業した市民の学習希望のニーズには、生涯学習の場で対応してきた。しかし、義務教育修了者の再入学が認められるとともに、法整備等が進んだことにより、学校教育における学びのセーフティネットの拡充が必要であると考え、平成29年2月に夜間中学を開設することを表明した。</p> <p>過去2年間は、文部科学省委託事業を活用し、夜間中学の設置に注力してきた。平成29年度は、基本構想計画を立て、関係機関との協議を進め、開設場所を決定した。平成30年度は、生徒募集、就学事務整備、特別の教育課程の検討、校舎改修工事等、開設に向けた様々な諸条件の整備を、一つひとつ着実に進めてきた。</p> <p>平成31年4月に松戸市立第一中学校みらい分校が開校した。新しい時代の新しい夜間中学として、ここからが本当の意味での出発となる。開校後は、みらい分校との連携を密にし、教育委員会と学校と歩調を合わせて本研究に当たる。</p> <p>本研究では、外国籍の生徒等の受入れを想定し、みらい分校独自の日本語指導の在り方についての研鑽を深めていく。</p> <p>現状では日本語指導担当の非常勤職員を1名配置しているが、将来的にはすべての教員が日本語指導を行えるようになることを目指している。本市夜間中学において、日本語指導者の育成及び実態に即した指導体制を構築することで、多様な生徒の入学希望の喚起をねらいとする。</p>
調査研究の成果	<p>【12月9日】</p> <p>みらい分校職員研修</p> <p>NPO法人多文化フリースクールちば</p> <p>理事長 白谷 秀一</p>

【12月19日・1月9日】

みらい分校職員日本語指導研修

公益財団法人 東京YMCA 東京YMCAにほんご学院

校長 小野 実

【2/5、2/7、2/10、2/12、2/14、2/17～2/21、2/25～28】

みらい分校への日本語講師派遣

学校法人朝日学園

明生情報ビジネス専門学校 理事長 湯澤 大介

上記、研修の講師派遣に伴い、研修資料や指導用資料を学校で印刷することとした。（請求書番号1）

「みらい分校への日本語講師派遣研修」の際に図書を使用した。

（請求書番号2）